

ハッピータイムだより

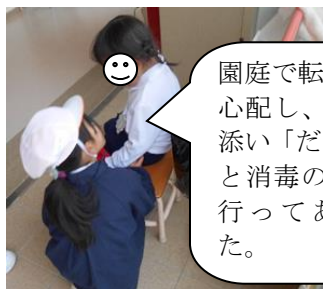
No.6

令和 6 年 1 月 29 日

東大阪市立北宮こども園

園生活を締めくくる 3 学期が始まりました。朝はマラソンをして身体を温めてからハッピータイムを楽しんでいます。寒さに負けず、子ども達は元気いっぱい園庭を走り回っています。

子ども達が大好きなハッピータイム。異年齢で好きな遊びを楽しめることも魅力の 1 つですね。遊びの中に発見や工夫があったり、友だちとの絆が生まれたり、様々なことに注目してきましたが、今回はこんな素敵な姿を紹介したいと思います。



園庭で転んだ 3 歳児を心配し、4 歳児が寄り添い「だいじょうぶ？」と消毒の所まで連れて行ってあげていました。



足についた泥を流水で洗っている園児の横で、ズボンに付いた泥を払ってあげていました。その後一緒に保健室に行っていました。

春に比べると足腰も強くなり、ずいぶんたくましくなった子どもたちです。夢中になって遊んでいると、怪我をすることもあります。そんな時、近くの友だちが気付いてくれ先生の所に連れてきてくれます。先生に任せるのではなく、友だちだって助けてくれる。お兄ちゃん、お姉ちゃんって優しい。優しさが溢れる場面に何度も出会います。

<振り返りの時間>

こども園では遊びや、1 日の活動を振り返り、話し合う時間を大切にしています。**自分の思いや考えを友だちに伝えるように話すこと**はとても大切なことです。また、友だちに共感してもらったり、**自分と違う意見を知る機会**につながったり、人間関係の基礎を一生懸命築いています。

年長児の降園前に行う「おはなしタイム」の時間での振り返りでは…。

「お話してくれる子いる?」「はい」と元気よく手を挙げる子どもたち。



「ハッピータイムでした鬼ごっこが楽しかったです。何か聞きたいことがありますか?」「誰と一緒にしたの?」「〇〇君と、〇〇ちゃんと…」10人ぐらいの名前を教えてくださいました。



3 歳児の朝の会では「今日ハッピータイム何したの?」



制作コーナーで「夢の国」を作ったと発表してくれました。



<1月の遊び>



三角コーンにゴムを結び、そのゴムには鈴が付いています。鈴を鳴らさず通り抜けられるかな？



サイコロの目が出た所を手で押さえるゲームです。さあ、何が出るかな？



正月に年賀状をもらった子も多いと思います。手作りハガキを大好きな人に送りたい！と一生懸命書いて、こども園のポストに投函していました。

普段から手や足を付く遊びを取り入れておくと、転んだ時にとっさに手が出たり、バランスを崩した時足で踏ん張ることにつながります。



秋に植えたチューリップの球根。この季節ならではの育て方を知り、毎日観察しています。友だちの球根も気になるようで、「芽が出てきたね」と友だちの球根も見に行っていました。

<きんかんの実が欲しい！>



A 児

先生「何持ってるの？」

A 児「きんかん」と笑顔で見せてくれました。

それを見ていた B 児は「僕もきんかん欲しい！」

先生「じゃ、どこにあったか聞いてみたら？」と伝えると

B 児が A 児に「どこにあったの？」早速聞きにきました。

A 児「校務員さんが教えてくれた。」と教えてもらい、校務員さんを探しにきました。



B 児

校務員さんを見つけ、「きんかんどこにありますか？」としっかりと聞いた B 児。早速案内してもらいました。



自分のやりたいことが見つけられること。自分の願いを叶える為の行動力。実は簡単なことではありません。側で見守り、必要に応じてアドバイスはしましたが、B 児の行動力に驚かされた場面でした。

こども園の東側に行ってみると、違う友だちもきんかんの実を集めていました。「いい匂いがするよ」と匂わせてくれました。